

環境のあゆみ
2017

ダイジェスト(目次)

P 1. 「ダイジェスト」「環境のあゆみ2017報告にあたり」

P 2. 「会社概要」「事業所一覧」

P 3. 「経営理念と環境方針」

P 4. 「環境マネジメントシステム概要と運用状況」

メロディアン環境マネジメントシステム運用組織図を掲載しています。
組織図にはISO14001認証取得組織と認証取得外組織を色分けして識別しています。

P 5. 「環境目的・環境目標の達成状況」

2016年度(2016年4月1日～2017年3月31日)の環境目標への取り組みに対する達成状況と評価結果、並びにそれぞれの解説を掲載しています。

P 6. 「花柄デザインリニューアル」

コーヒーフレッシュ『メロディアン・ミニ』の蓋材にデザインしている花柄をリニューアルしております。その紹介をさせていただきます。

P 7. 「三重工場の省エネルギー活動」

三重工場で行っている省エネルギー活動の事例を掲載しています。

P 8. 「GHG(温室効果ガス)排出量の推移(2014年～2016年)」

過去3年間のGHG排出量の推移グラフを掲載しています。
2014年度と2016年度比較で約7.2%の排出量削減ができました。

P 8. 「排水処理の管理状況(三重工場)」

三重工場の排水処理設備から河川へ放流される処理水の管理状況について、毎月の測定結果を掲載しています。

P 9. 「“クリーン・やお一斉清掃キャンペーン”に参加しました」

本社で行った「クリーン・やお一斉清掃キャンペーン」に参加した様子を掲載しています。

P 10. 「高山植物保護活動の支援」

1992年(平成4年)の日本高山植物保護協会へ法人会員として入会以来、メロディアンは高山植物保護活動を通じて、環境保全活動に対する啓蒙活動を継続してきました。2016年度の活動報告、高山植物観察写真を掲載しています。

環境のあゆみ2017作成にあたり

この環境レポート「環境のあゆみ」は、環境保全活動の報告を主な目的とし、2002年度(平成14年度)より一般の方々へ公開しております。

また、紙資源保護を目的にWebでの公開を基本とし、冊子による配布を最小限に抑えておりますのでご理解いただきたく存じます。冊子ご希望の場合は当社ホームページよりダウンロードしてご利用ください。

作成単位を極少化するために、社内作成しておりますので、印刷インクや用紙など素材面での対応が十分出来かねている現状ではございますが、重ねてご理解いただきたく存じます。

今回の「環境のあゆみ2017」の報告対象期間は2016年度(2016年4月1日～2017年3月31日)の活動内容と結果を基本としております。

活動範囲は主にメロディアン株式会社(全事業所)と株式会社メロディアンメンテの環境保全活動です。

昨年発行の「環境のあゆみ2016」に対する貴重なご意見・ご感想をお寄せ頂きありがとうございました。

読者の皆様の貴重な声を今後も環境保全活動と報告書作成に活用させて頂きたく、今回も簡単なアンケートをご用意いたしましたので、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せ下さい。

(発行担当：環境対策委員会 事務局)

会社概要

代 表 者	代表取締役社長 中西 優紀雄
創 業	昭和 33 年 12 月 6 日
設 立	昭和 36 年 9 月 20 日
資 本 金	9,850 万円
売 上 高	124.9 億円 (2017.03)
従 業 員 数	296 名 (2017.03)
事 業 内 容	コーヒーフレッシュ、シロップ、美と健康飲料、及びデザート等の食品製造販売、化粧品販売

沿革 (環境関連を中心に掲載)

昭和 33 年 12 月	大阪府八尾市に日興乳業創業
昭和 36 年 9 月	日興乳業株式会社を設立
昭和 61 年 11 月	三重工場建設 敷地面積 1 万坪 40 億円投資
平成 元年 6 月	メロディアン株式会社に社名変更
平成 2 年 4 月	国際花と緑の博覧会「MELODIAN LAND」出展
平成 3 年 1 月	環境対策委員会を発足
平成 4 年 4 月	『環境対策委員会のあゆみ』(現:環境のあゆみ)を発刊
10 月	株式会社メロディアンメンテ設立
11 月	『日本高山植物保護協会(JAFPA)』へ法人入会と関西支部設立に協力
平成 5 年 3 月	高山植物保護キャンペーン『高山植物いろいろプレゼント』を実施 社用車のディーゼルエンジン車からガソリンエンジン車への全面切替を決定 (NOx 対策)
平成 6 年 6 月	三重工場排水処理設備の増設
平成 8 年 5 月	三重工場へ高温焼却炉を設置 (ダイオキシン対策)
平成 10 年 3 月	社用車のガソリンエンジン車輦への全面切替完了と低公害車導入の決定
12 月	三重工場が ISO9002 の認証を取得
平成 12 年 1 月	ISO14001 を全社一斉認証取得
平成 13 年 10 月	認証取得範囲を企画開発部門まで拡大し ISO9001 へ更新
11 月	三重工場の焼却炉運転の全面停止 (平成 14 年 3 月撤去)
平成 14 年 1 月	三重工場から埋め立て処分場へ直接排出される廃棄物の撲滅達成
2 月	三重工場排水処理施設へ膜濾過設備を導入
12 月	三重工場にて HACCP 承認 (清涼飲料水ライン、他)
平成 17 年 1 月	社用車へハイブリッド車の導入を開始
11 月	株式会社メロディアンハーモニーファイン設立
平成 19 年 3 月	三重工場へ中身入ポーション破砕分別設備を導入
10 月	研究所開設
平成 20 年 4 月	ISO14001 認証取得範囲から営業所等を除外し準適用組織とした
平成 22 年 2 月	三重工場へ LPG 仕様のボイラー設備を導入
平成 27 年 2 月	製造委託先との業務提携にて名古屋工場にてポーション製品の生産開始
11 月	三重工場 A 重油仕様ボイラーを LNG 仕様へ更新
平成 28 年 2 月	三重工場が FSSC22000 の認証を取得
9 月	関東工場竣工

事業所一覧

本 社	〒581-0833	大阪府八尾市旭ヶ丘 1-33
研 究 所	〒581-0869	大阪府八尾市桜ヶ丘 2-128-1
東 日 本 事 業 所	〒151-0053	東京都渋谷区代々木 4-29-4 (西新宿ミノシビル 3F)
近 畿 事 業 所	〒532-0003	大阪市淀川区宮原 5-1-18 (新大阪第 27 松屋ビル 10F)
中 部 営 業 所	〒450-0002	名古屋市中村区名駅 4-2-7 (丸森パークビル 5F)
中 四 国 営 業 所	〒700-0907	岡山市北区下石井 1-1-3 (日本生命岡山第 2 ビル 5F)
九 州 営 業 所	〒812-0014	福岡市博多区比恵町 1-30 (サンいずみビル 3F)
三 重 工 場	〒518-1151	三重県伊賀市白檜 2816-6
関 東 工 場	〒372-0011	群馬県伊勢崎市三和町 2742-1

経営理念

—— 社 是 ——

1. 信頼される人間になろう。
1. 信頼される商品を作ろう。
1. 信頼される企業になろう。

—— 基本方針 ——

当社は、豊かな食文化の創造をめざし、真実と信頼の経営を展開して、顧客、取引先ならびに社員の繁栄と幸福に最大限寄与することにより、以下の5項目を基本方針とします。

- 一、信頼される商品の提供、および誠実かつ積極的な社員の人間形成を通して、企業の信頼性を向上させます。
- 一、市場環境の変化に対応した着実な規模の拡大と、経営管理システムを強化・徹底して、収益構造を強化します。
- 一、顧客第一主義にもとづいた、『おいしさはしあわせ』『美と健康』をテーマに創造性豊かな新製品の開発を目指すとともに新市場開拓をより一層推進します。
- 一、法令遵守を基本に、環境保全にも積極的に取り組み、広く社会や顧客に支持される企業づくりを目指します。
- 一、働き甲斐の創造につながる、明朗かつ風通しのよい職場環境づくりを推進します。

環境方針

1. 基本理念

当社は、高山植物保護活動をはじめとして、地球環境の保全に積極的に取り組み、社会や顧客から支持される企業作りを目指し、「物を大切に」「資源を大切に」「自然を大切に」を基本に、環境負荷の低減を図ります。

2. 基本方針

- 1) ISO14001 に基づく環境管理システムの構築を行い、外部取引先様と共に環境保全活動を推進し、環境汚染の防止と環境負荷低減の継続的改善を図ります。
- 2) 環境関連法規制、地域との協定などの順守と、これらの管理基準を整備し、管理状態の維持・向上を図ります。
- 3) 環境保全活動の目的・目標を定め、これを定期的に見直すと共に、その達成を図ります。
- 4) 無駄の排除・抑制及びリサイクルなどによる、資源の有効活用を図ります。
- 5) 電力・燃料など、エネルギーの効率的利用を推進し地球温暖化防止を図ります。
- 6) 従業員への教育、社内広報活動などを実施し、全ての従業員に対して、環境方針の周知及び環境に関する意識の向上を図ります。
- 7) この環境方針を社外へも公開し、達成を図ります。

平成21年4月1日
メロディアン株式会社
株式会社メロディアンメンテ
代表取締役社長 中西 優紀雄

環境マネジメントシステムの概要と運用状況

社長が責任者(環境管理責任者が副責任者)として経営会議を毎月1回開催しています。

この会議には、各部門の責任者をはじめ各部門の担当取締役も参加し、必要に応じて随時、年度目標の達成状況の確認や、環境情報の共有化を図ると共に、環境保全に関する重要事項の審議・決定を行っています。



また、経営会議の直下には環境管理責任者が委員長をつとめる環境対策委員会を設置し、経営会議へ上申するための実務レベルの協議、ならびに内部監査のための打合せなどを実施しています。

当社は2000年(平成12年)1月に環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 (JISQ14001) を全社全事業所一括で認証取得して以来、毎年1回以上の内部環境監査と外部の第三者審査機関による審査を実施し、ゆっくりとした歩みではありますが、着実に環境マネジ

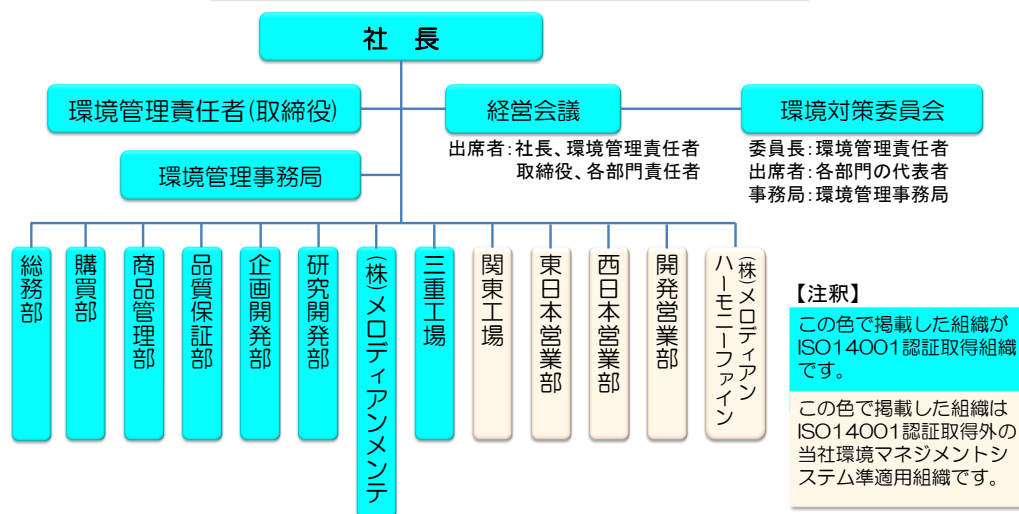
メントシステムの維持向上に努めて参りました。(現在の認証取得範囲は「環境マネジメントシステム組織図」をご参照下さい。)

2016年度も、社内の資格認定基準を満たした内部環境監査員により全社の認証取得範囲部署を対象として内部監査を実施した結果、計7件の指摘と共に「是正要求書」が発行されています。これらの指摘事項は全て該当部署による是正処置が実施され、内部監査員による是正確認まで完了しています。

また、外部審査機関による更新審査(2016年11月22日)では、不適合には至らないものの放置すると不適合に至る可能性がある観察事項として、計8件の指摘をいただきましたので、現状の環境マネジメントシステムを改善できる機会と捉えて、各関連部署を中心に必要な見直しを実施しました。



環境マネジメントシステム組織図



環境目的・目標の達成状況

2016年度（2016年4月1日～2017年3月31日）の環境目的・目標に対する達成状況は次の通りです。

環境目的	環境目標	評価	コメント
安心安全にこだわり品質管理の徹底を目指す	クレーム件数の低減		目標を大きく下回る実績を残すことが出来ました。
	不適合件数の低減		クレームに至らずに製造工程内で発見された不適合件数は達成することができました。
	作業ミスの低減		作業場のミス件数は目標達成することができました。
	製品廃棄の低減		前年からは大きく低減する事が出来ましたが、目標をやや下回りました。
CO ₂ 排出量データの把握	環境データの継続把握		温室効果ガス排出量換算の元データをはじめ、環境データの把握を継続中です。
環境保全活動の推進と利益に繋がる無駄をださない仕組みづくり	グリーン販促物購入比率70%の維持		販売促進ツールを設計する際にも、環境負荷の抑制を考慮しています。
物流品質の向上	配送クレーム発生率の低減		発生件数は前年同等以下でしたが、発生率はやや目標を下回りました。
エネルギーコスト上昇に対応すべく無理・無駄の排除、効率化を目指す	エネルギー原単位の低減		関東工場竣工に伴う生産数量の分散にて、前年数値をベースとした目標には至りませんでした。

（用語説明）エネルギー原単位とは製造量当たりのエネルギー消費量の事です。

メロディアン・ミニ花柄デザインリニューアル

～さらに色鮮やかに、コーヒータイムに花を添えて～

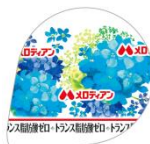
コーヒーフレッシュ「メロディアン・ミニ」の上蓋にデザインしている花柄を全面リニューアルいたしました。全42種類の花をご紹介します。



花図鑑



あさがお



あじさい



アネモネ



アマリリス



あやめ



カーネーション



ガーベラ



カサブランカ



カトレア



カラー



キキョウ



キク



グラジオラス



クレマチス



クロッカス



コスモス



さくら



シクラメン



シャクヤク



シンビジウム



スイートピー



すいせん



ダリア



チューリップ



ツツジ



ツバキ



トルコキキョウ



ハイビスカス



花菖蒲



バラ



パンジー & ビオラ



ひまわり



ヒヤシンス



ブーゲンビリア



フリージア



ベニバナ



ばたん



ポピー



マーガレット



マリーゴールド



ラベンダー



リンドウ

三重工場の省エネルギー活動

メロディアンの工場では、これまで様々な省エネルギーに関する取り組みを実施しています。ここでは、現在進行中の取り組みも合わせて、その一部をご紹介します。

1. 高天井照明のLED化を促進。

2012 年以降、本格導入を進めてきた高天井照明の LED 化は、各工程のエリアを決めて順次計画的に実行されています。

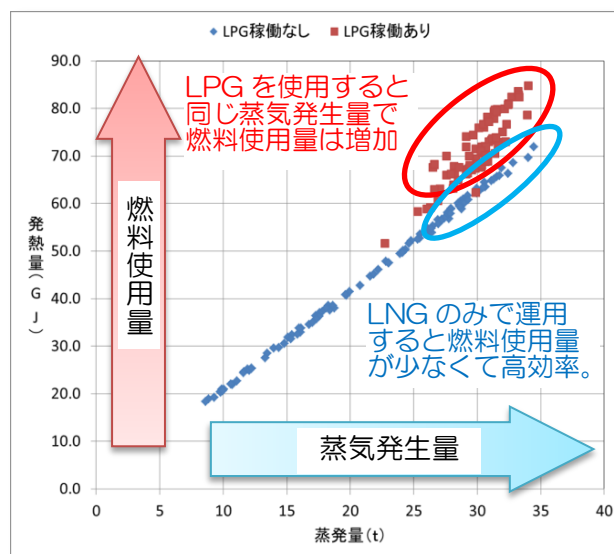
次の表は、2016 年度に実施した内容の一部について交換前後の消費電力量比較を掲載したもので、LED 化によって改善されていることがわかります。

	変更前	変更後	
高天井	メタルハライド 消費電力：290.0W	LED 消費電力：124.0W 57%Down!	
低天井	蛍光灯 消費電力：72.0W	LED 消費電力：24.9W 65%Down!	

2. ボイラー燃料のLNG(液化天然ガス)化のその後。

2015 年に A 重油仕様からエネルギー効率の良い LNG (液化天然ガス) 仕様へ更新したボイラーは、危機管理面から LPG (液化プロパンガス) 仕様のボイラーと併用しています。

併用しているボイラーについて、より省エネ運用するために右のような実績把握をもとに、LNG 仕様のボイラーを優先的に稼働するなど、効率的な運用を実施しています。

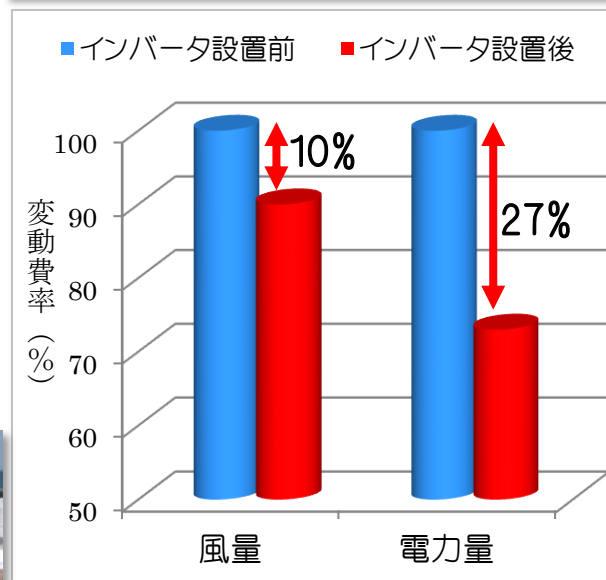


3. 調合室ルーフファンのインバータ化。

他の作業場所と比較して、温水や蒸気を多く使用するため、高温多湿で厳しい作業環境となっている調合工程について、室内の空気を屋外へ排出しているルーフファン（写真参照）にインバータを設置することで、エネルギー効率の向上を図っています。

インバータ設置によって、風量を 10%抑えると、消費電力量は 27%も抑制可能となります。

この特性を活用し、ルーフファンの風量を適正に調整することで、消費電力量の削減を促進します。

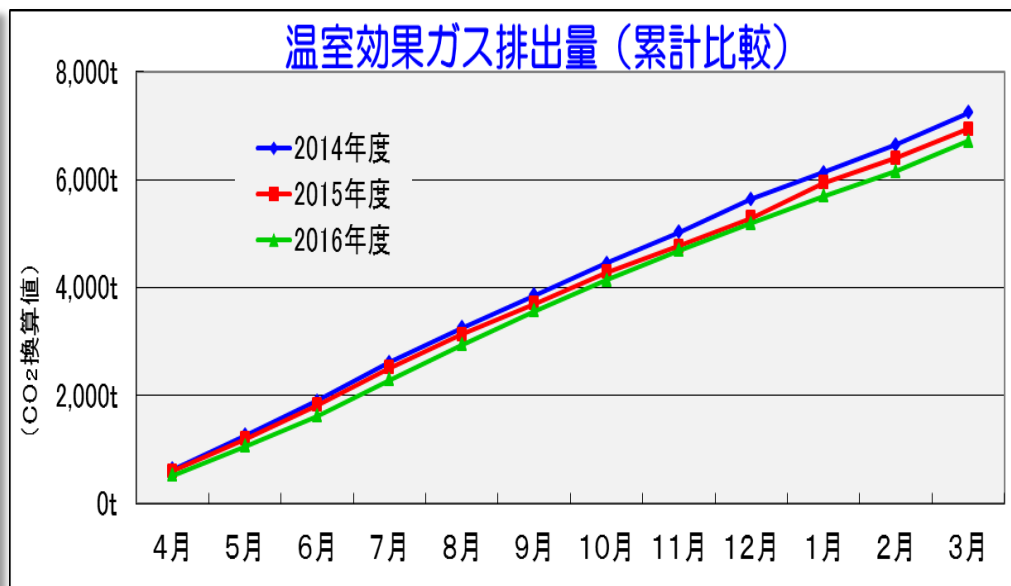


温室効果ガス排出量の推移（2014～2016年）

事業活動に伴う温室効果ガス（GHG）の排出量を低減してきました。
2016年度は関東工場を新設し、秋より本格稼働をスタートしたため、温室効果ガスの増加も懸念されました。

しかしながら、2014年度と2016年度比較で約7.2%の排出量削減を図ることができました。

2015年度に導入されたLNG（液化天然ガス）式ボイラーによる温室効果ガス抑制効果が期待通りに発揮されていると考えています。



排水処理の管理状況（三重工場）

三重工場の生産ラインから排出される排水の管理状況は、昨年の報告以降も下表の通り、関連する法規制の基準値を下回って問題なく推移しています。

また、関東工場も同様の管理を実施しており、基準内で問題なく推移しています。

■三重工場の排水処理後の測定値(実績)

単位：mg/L（但し、水素イオン濃度は単位なし、大腸菌群数は個/ml）

測定項目(基準値)	測定サンプル採取月と測定結果											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水素イオン濃度 (5.8～8.6)	8.00	7.40	7.80	7.70	7.80	8.00	8.30	7.70	8.20	8.50	7.80	7.90
生物化学的酸素要求量 (25 以下)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.10	2.00	2.00	2.30	2.00	2.00
化学的酸素要求量 (なし)	10.80	10.70	8.00	8.60	9.70	10.70	7.70	9.90	10.70	13.50	12.80	12.40
浮遊物質 (90 以下)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
カルシウム抽出物質 (30 以下)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
全窒素 (120 以下)	13.70	12.40	6.90	12.00	11.30	4.90	12.60	10.00	14.10	12.70	12.50	16.60
全リン (16 以下)	1.23	0.77	1.23	0.96	0.84	0.77	2.00	0.52	0.93	0.35	0.94	0.83
大腸菌群数(3000 以下)	22.00	0.00	50.00	2.00	2.00	0.00	2.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00
鉄 (10 以下)	1.40	1.40	0.80	0.90	1.10	1.40	1.10	1.50	1.70	1.70	2.10	1.90
マンガン (10 以下)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (100 以下)	14.00	8.00	6.00	11.80	11.20	3.30	12.10	19.00	14.10	10.40	9.20	12.40
亜鉛 (2 以下)	[年1回測定項目] 0.1 (2017年3月採取)											
基準適合判定	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合

“クリーン・やお一斉清掃キャンペーン”

本社所在地が大阪府八尾市にある関係で、所属・協力させていただいております“八尾をきれいにする運動推進本部企業連絡会”が、9月8日を「クリーン（9）・やお（8）」の日と定め、2014年度から開始した一斉清掃キャンペーンを、2016年度も実施しました。9月8日を含む週（9月4日～9月10日）を『クリーン・やおウィーク』として当社を含む18社・40か所で清掃活動を行いました。

当社としても「クリーンウォーキング」として、定期的に毎月第2水曜日の朝に、事業所周辺の清掃を実施しており、継続して活動して参ります。

<http://www.city.yao.osaka.jp/0000031309.html>



■清掃場所

八尾旭ヶ丘1丁目33（メロディアン本社）近辺～楠根川付近（桜ヶ丘3丁目交差点まで）

八尾市桜ヶ丘1丁目2-128-1（メロディアン研究所）近辺～楠根川・近鉄沿線沿い（付近）



高山植物保護活動の支援

1992 年（平成 4 年）の日本高山植物保護協会へ法人会員として入会以来、メロディアンは高山植物保護活動を通じて環境保全活動に対する啓蒙活動を継続してきました。

メロディアン本社が関西圏にあることから、JAFFA 関西支部設立のお手伝いも参加させて頂いたご縁もあり、単に法人会員として入会し、経済的な支援に留まるのではなく、入会当初から関西支部の理事として社員を派遣させて頂き、また従業員の多くも個人会員として参加させて頂くなど、共に高山植物を通じて自然環境の大切さと環境保全への啓蒙活動に参加させて頂いています。

2016 年度は、関西支部の活動として、春・夏の 2 回の観察会を実施しております。春の観察会は六甲山の山頂近く海拔 865m にある六甲高山植物園を訪れました。ちょうど一番の季節で開花している植物が沢山あり、目を楽しませてくれました。自生地には簡単に行けない高山植物を堪能しました。特にヒマラヤの青いケシが何種類も咲いており見事でした。

夏の観察会は琵琶湖の西に連なる比良山系の蓬莱山を訪れました。積雪期はスキーゲレンデとなるこの地は、ロープウェイで山頂まで上がることができ、ファミリー向けでハイキングコースも整備されておりました。残念ながら花は期待はずれでしたが、天候にも恵まれ、琵琶湖の向こうに近江富士をのぞむ爽やかな景色を楽しみました。

2017 年度も、春・夏 2 回の観察会と秋に環境学習会を計画しております。

【JAFFA ホームページ <http://www.jaffpa.gr.jp/>】



【六甲高山植物園】



【比良山系蓬莱山】



